

令和7年度第2回介護保険運営協議会 会議録

項目	内容	
開催日時	令和8年2月18日(水) 午後6時30分から午後7時15分まで	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者氏名	委員	12名 定本貴明会長、上杉栄子副会長、齋藤昌久、吉澤学、佐々尚美、倉嶋仁、松井陽代、古川清香、小笠原圭、秋澤由美、柴谷寛人、高見澤秀男
	事務局	8名 福祉部長 高齢介護課長、介護保険班長、介護保険班員1人、高齢福祉班長、高齢福祉班員2人 地域包括支援センター管理者
欠席者氏名	なし	
議題	1. 開会 2. 議題 (1) 令和7年度介護保険施行状況中間報告について (2) 地域支援事業について (3) 高齢者保険福祉計画及び第10期介護保険事業計画について (4) その他	

発言者	議題・発言内容及び決定事項
事務局	1. <u>開会</u>
	2. <u>議題</u>
	<u>(1) 令和7年度介護保険施行状況中間報告について</u>
事務局	(資料1) 事務局より説明
	(質疑応答なし)
会長	続いて資料2の説明を担当者からご説明をお願いします。
事務局	(資料2) 事務局より説明
会長	ありがとうございます。この資料2についてのご質問等はございますか。
委員	資料2の小規模多機能型居宅介護の利用率が高くなっている部分について、今事務局より説明のあった「いつでもどうぞ」さんの利用が増えているということだったのですが、もう1つ「喜樂園」さんの小規模多機能型居宅介護について、今休止中になっているのですよね。
事務局	既に廃止になっています。
委員	今回募集したグループホームについては、前回の地域密着型サービス運営委員会で募集の報告があったと思うのですが、小規模多機能について、これだけ伸びているということは、需要があると思うのですが、募集を行う予定等はないのでしょうか。
事務局	次期計画に向けて、色々なケアマネさんなどからご意見を聞いたりし、そういった中で必要性があれば、また検討していきたいと考えています。
	今の段階ではまだ、募集を行うとも言えないですが、検討していく必要があるかなとは思っています。
委員	現場の肌感的に、この小規模多機能型居宅介護というのは、すごく需要があるなと感じているので、是非、募集の方を前向きにご検

	<p>討いただければ良いかなと思います。</p>
会長	<p>確認です。住宅改修というのは主に手すりを付けたりすることですよね。</p>
事務局	<p>はい。その他、段差の解消のため、スロープを付けたりすることですね。</p>
委員	<p>住宅改修ですが、4月に件数が多くなっています。全体的に見ると、そういう期末の区切りだからということがあるのでしょうか。</p> <p>資料を見ると、4月が15件、他の月は8件や3件と少なめなのですが、4月が随分多いなと感じまして、何か理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>特に理由というものがある訳でなく、今回のタイミングというか、偶然この数字になったということです。</p>
委員	<p>区切りがあるから、早く行わないといけないとか、そういうのがあるんですかね。</p>
事務局	<p>特にそういったわけではありません。</p>
会長	<p>その他、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>居宅サービスの訪問リハビリテーションが計画対比 61.5%になっていますが、61.5%という数字だと少ないと思います。</p> <p>いわゆるリハビリは、要望が多いのかなと思っていたのですが、少ないのは何か理由がありますか。</p>
事務局	<p>実際のところ、例えば訪問看護のサービスの中で、そういったメニューもあるので、そちらで使ってる方もいらっしゃるのかなと思っています。</p> <p>よって訪問介護看護の率が高くなっている部分では、そういう状況が影響してるかなと思っています。</p>
会長	<p>特別に理学療法士さんが少ないとか、そういう原因ではないので</p>

	すね。
事務局	そうですね。
会長	わかりました。その他、よろしいでしょうか。なければ次の議題に移ります。 議題（２）地域支援事業について、資料３、４の説明を担当者からご説明をお願いします。
事務局	<u>議題（２）地域支援事業について</u> (資料３、４)事務局より説明
会長	ありがとうございます。それでは資料３と４について、何かご質問等ございますか。
委員	資料４の４番の認知症総合支援事業、初期集中推進支援事業です。認知症の初期はすごく大事だと伺っているんです。この事業は、支援チーム対応０件なんです。事業として何を行っているのでしょうか。連絡があれば行くだけのことなのでしょうか。それとも何か講座等を開くとか、そういうことは何か計画してらっしゃるのかどうか伺いたいと思います。やはり認知症初期が一番大事な時期だということを皆さん知ってらっしゃると思うので。 広報をするというのも大事なのかなと思います。認知症の方は多くいるのに、対応が０件という点が疑問に思いましたので、質問させていただきました。
事務局	委員が言われた、普及啓発や広報、集いの場等については、この下の「地域支援・ケア向上事業」に入っています。 また、この初期集中支援チームに関しては、チーム員が包括支援センターの専門職と、認知症サポート医。開業の先生３名のメンバーでチームが構成されております。内容的には、認知症の臨床の診断を受けてないかたや、認知症の BPSD、要は周辺症状などが強い方を集中的に支援していくチームになりますけれども、二宮町においては、先生方の協力だったり、包括支援センターの総合相談機能の中で、初期のアウトリーチ等対応しているところもあります。 このケースにあげるとなると、正直なところ、かなり膨大な資料

	<p>を作らなければならない、あえて初期集中支援チームとしてはあげず、包括支援センターの総合相談機能という部分と、町の開業の先生とのケース対応をしているところでもありますので、特に相談が0件というわけではなく、あえて二宮町では初期集中支援推進事業にあげずに、包括の総合相談機能をフルに発揮しながらケース対応をしているということになります。</p> <p>ただ、この事業に関して、本日の資料には載せていないのですが、年に4回程度サポート医の先生、神奈川県保健福祉事務所、町、包括にて認知症施策全般の協議をしています。</p>
委員	<p>活動はしているけれども、ここは0件ということですね。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他よろしいですか。</p>
委員	<p>先ほどの初期集中支援推進事業に関して、他の会議に出ている0件というところが結構あり、その資料を整えたりすることがすごく大変であると今お聞きしたのですが、国がこの事業やりなさいと言っている目的は何なのでしょう。</p> <p>相談とは別に、この事業を立ち上げている理由があるのかと少し思ったのですが。多分、診断がついてないかたがやはり少ないということも1つあって、0件というところに、他のところでもあがってきているのかなと。</p> <p>そんな全然診断がついていないかたで、これから先生に見ていただいて、そういった何かチームで支援していくというところがあるのかなとは思っているのですが、その辺、国がこの事業としてあげている理由みたいところを一度見ていただけたらなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他の市町村でも割と0件が多いんですね。</p> <p>私も、患者さんで認知症の疑いがあったらまず、ここら辺であれば、湘南大磯病院の脳神経内科の先生の認知症外来に紹介して診てもらい、ある程度診断がついて薬の初期投与などが終わり、落ち着いたら私のところで継続してもらっています。あまりチームに相談するようなことはないですね。</p> <p>他になければ次の議題に移ります。</p>

	<p>議題（３）高齢者保険福祉計画及び第 10 期介護保険計画について、資料 5 から 8 の説明を担当者からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（３）高齢者保険福祉計画及び第 10 期介護保険計画について</u> （資料 5 から 8）事務局より説明</p>
会長	<p>アンケート回収率について、こんなものでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>資料 6 について、調査対象者②在宅介護実態調査の方は、実際に、要支援・要介護者の方 300 名を無作為抽出したということですよ。調査の方法は郵送で、回答については返信用封筒で書いてもらったアンケートを返送してもらうという内容になっていますよね。</p> <p>そう考えると今、お一人で住んでいたり、高齢者世帯であったりというご家庭もすごく多くなっている状況だと思いますが、その中で無作為に 300 件という、やはりそういう方の中にもアンケートは渡っているのかなと思いき、そういった状況で返答がないということ、アンケート回答ができないということが、何か実態調査になるということもあるのかなと思います。</p> <p>ただ、この項目を見るとやはり、アンケートで答えていただいて、それを計画の方に反映していただくというのは、できたらいいなと思います。そうするとお一人だったり、要介護度が高い方だったり、高齢者世帯の方だったりするとアンケート自体を答えることができなかつたりする方もいらっしゃると思います。</p> <p>既に実施済ではあるのですが、何かこのアンケート回収、実態を把握するための方法として、本当にお困りの方の実情を汲み取るような仕組みというか、アンケートベースではないのかもしれませんが、アンケートのやり方を考えていただくと良いと思います。</p> <p>だからといって何かいい方法があるかということ、難しいなとも思いました。</p>
課長	<p>今おっしゃる通り、明確な所ではないのですが、今おっしゃられたご意見の通り、答えたくても答えることができない方を含めたアンケートの取り方に関しては、今後もう少しシビアに考えたいなと思います。</p>

事務局	<p>また、そういうケースも包括支援センターと連携しながら、情報収集ができればなど考えております。</p>
会長	<p>在宅にいる方で、例えば訪問看護師とか、ケアマネさんとかそういう人たちが、アンケートと一緒に回答することはだめなんですか。</p>
事務局	<p>過去の経過ですと、認定調査時に併せてアンケートを取ってもらったのですが、最近ではやはり認定件数が増えており、認定調査件数が増えていることもあって、認定調査員の方にもご負担がかかってしまいます。</p> <p>また、1時間程度認定調査をした上で、なおかつアンケートを取るとなるとやはり、相手の方にもご負担がかかる部分もあります。</p> <p>前回アンケート時は、コロナの影響もありましたので、300名のうち200名は認定調査と併せて実施しましたが、100名は郵送で調査を実施させていただいたという流れがありました。</p> <p>今回についても調査員の方などの様々な部分を考慮した上で300名全てを郵送にさせていただいたという経過はあります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>現在、愛知県の事業者が解析されています。今度の協議会の際、結果を皆さんで確認したいと思います。</p> <p>他にご質問はよろしいでしょうか。なければ次の議題に移ります。</p> <p>議題（４）その他ついて、まず参考資料１の説明を担当者からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（４）その他</u>  （参考資料１）事務局より説明  （質疑応答なし）</p>
会長	<p>ありがとうございます。続いて参考資料２について担当者からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（参考資料２）事務局より説明  （質疑応答なし）</p>

会長	その他、ご質問等なければ、以上で第2回介護保険運営協議会は終了とさせていただきます。 <b>【閉会】</b>
----	---